

《学校の教育目標》 自分と仲間を大切にし、志をもって、ともに学び行動する生徒の育成
〈本年度 学校の重点目標〉 基本的な生活習慣と学習習慣の確立、および安心・安全な学び舎の構築

基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、他の学習や生活場面に生かすことができる。

【つくる力】

相手や状況に合わせて適切に表現し、お互いの考えを取り入れながら協働できる。

【つなぐ力】

めあてを達成する方法を決め、実行し、振り返りながら、あきらめずに挑戦しようとする。

【つらぬく力】

学びをつなぐ授業

- ①学力向上プラン「視点2」に記載
- ②形成的評価や生徒による授業評価を活かし、TTや少人数授業の工夫と、発展的・補足的な授業の充実を図る。(数学 毎時間) 【成果指標】「数学の授業の内容がよくわかる」と答える生徒の割合が80%以上
- ③ ICTを活用して教材の提示、情報収集、写真や動画等による記録を行う。(週1回)
- ④教員のスキルアップ研修の実施(学期1回)、自分の思いや考えを外国語で伝え合う活動を行う。(外国語 毎時間)

笑顔の先生

- ①学力向上プラン「視点4」に記載
- ②職員の役割分担の見直し・改善(適宜)、および職員の勤務時間の適切な把握(毎日)とタイムマネジメントを行う意識の改革を図る(適宜)。
【成果指標】教職員アンケートで「校務分掌等の活性化のため、各教職員が協力して行っている」の評価が、3.0以上(4段階評定尺度)

協働する学校・家庭・地域

- ①地域学校協議会プラン「提言①」参照
- ②地域学校協議会プラン「提言②」参照
- ③学力向上プラン「視点4」に記載

楽しい学校

- ①「くるめアクションプラン」の初期対応を徹底する(毎日)。いじめ・不登校対策委員会で、ケースに応じた対応策を検討し全職員で共有する(週1回)。学校生活の状況や悩みを把握するための生徒・教員の二者面談を行う。(学期1回) 【成果指標】不登校の出現率が全国平均以下、いじめの認知率が市平均以上
- ②生徒会執行部・専門委員会(生活安全・保健体育)が主体となった「休み時間の安全な過ごし方」「けが人数と発生場所、原因」を伝える取組を行う。(月1回)
- ③学年集会や学級活動において、学年や学級の課題を見出し、解決に向けた話し合い活動や班ノートの充実を図る。(適宜・毎日)

【体力向上】

- ①体育の時間の導入部分に、体づくり運動を帯で入れる。特に柔軟性を高めるストレッチを多く取り入れる。(毎時間)
- ②柔軟性・巧緻性を高める基礎体カトレーニング
『1校1取組』運動
・体力アップシート活用率:目標100%

【あいさつ・そうじ・自学自習】

- ①全職員による登校指導(毎月)、生徒会・PTAによる「あいさつ運動」(毎日・毎学期)の充実。
- ②生徒会美化委員会による、「全員掃除」の取り組みの充実。(毎日・適宜)
- ③「江南ノート」への点検・評価を丁寧かつ効果的に行い、その活用の充実を図る。(毎日)

基盤として大切にすること(本年度の重点)

- 【人権・同和教育】 「なかまづくり」のため、人権感覚の育成やお互いを大切にすることを育てるとともに、学力(基礎学力)の向上、そして確かな進路保障の実現を図る。
- 【特別支援教育】 「個別的教育支援・指導計画」をもとに、生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その個性や能力を可能な限り伸ばす指導を行い、自立できる力を育てる。
- 【キャリア教育】 特別活動・総合・道徳において、自らの生き方を考える場を取り入れる。